

特集

「横浜市民生活 白書2009」 を読み解く

横浜市都市経営局政策課

vol. 165

調査報
調季

少子・高齢社会の中で横浜でも2020年をピークに人口減少が予想され、また一昨年の金融危機から始まる経済不安と景気の後退は横浜にも大きな影を落としており、市民にとっての生活不安は増加している。

「横浜市民生活白書2009」は、こうした時代の変化をとらえて、横浜市民の生活実態や地域特性などを客観的な基礎データにより分析し、様々な課題を共有すべく編集された。

今回の調査季報では、研究者・民間企業・行政にそれぞれの立場から白書を読んでもらい、市民生活白書に描かれた市民像や生活課題、その対応策などについて各々の切り口から考察いただいた。

また、区民意識調査から区民の特性を明らかにし、区政に生かしていこうとする青葉区と瀬谷区の例を紹介した。

さらに、今後の施策を考える上で一つの重要な基礎となる人口動態について分析を行うとともに、これからの横浜のまちづくり、住み続けるまち、選ばれるまちとしての横浜のあり方を議論した。

白書に加えて、この調査季報が今の横浜の市民生活の課題把握と市民生活を意識した政策立案に活用いただけると幸いである。